



本日のテーマ

- WTO体制下、日本農業はどのような影響を受けたか？ 農業政策と農業構造
- 中山間地域直接支払い制度の意義はなにか？
- 農業・農村のもつ多面的機能は？

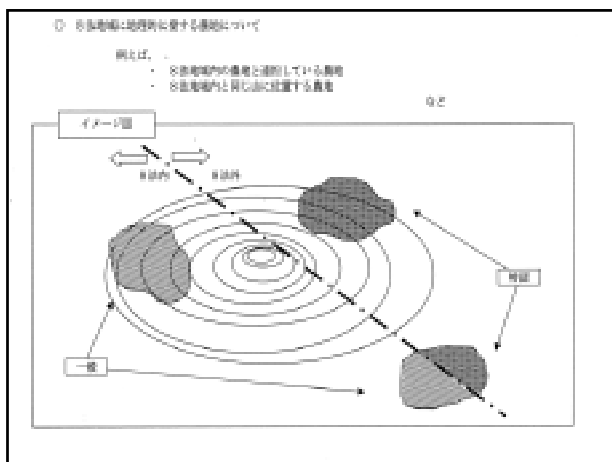
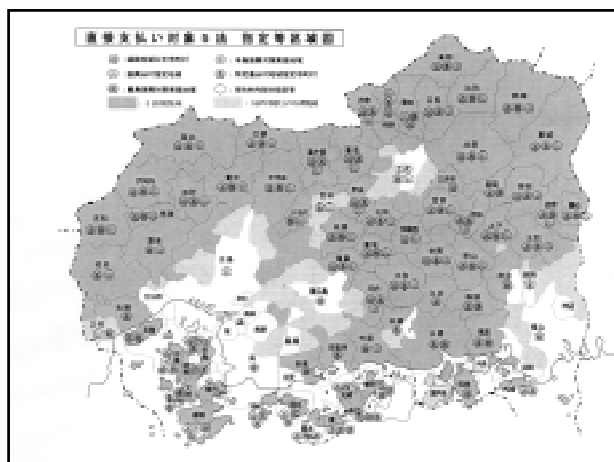
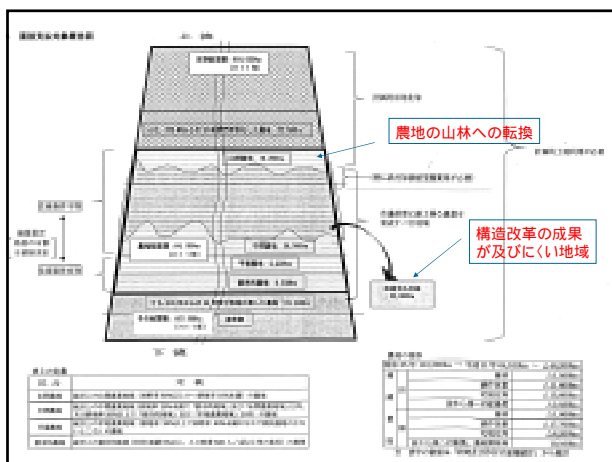
キーワード：
新基本法、構造改革、直接支払い、条件不利地域、集落協定、多面的機能

2

中山間地域直接支払い制度と運用

(追加資料のみ掲載)

3



(参考) 集落協定の定義

- 集落: 一団の農用地において協定参加者の合意のもとに農業生産活動等を協力して行う集団
- 直接支払いの対象となる傾斜等により農業生産条件の不利な1ha以上の一団の農用地において農業生産活動(耕作、農地管理等)を行う農業者等が締結するもので、将来にわたり当該農用地において農業生産活動が維持されるよう、構成員の役割分担、生産性の向上や担い手の定着の目標等、集落として今後5年間に取組むべき事項や目標を定めるもの。

「平成15年度 図説食料・農業・農村白書」より

7



集落を囲い込んだ柵(直接支払いを利用)

8

農業の多面的機能をめぐる

9

(参考) 外部不経済と外部性の問題

外部不経済 市場の内部で評価されず、費用や価格に反映されない社会的な費用や便益。

例 公害問題 その処理には費用がかかるが、発生源の企業が処理費用を負担しない。

農業の環境機能の発揮

社会的な便益は大きいですが、市場で評価されず対価の支払が行なわれない。所得分配が過小になり、環境機能の質が低下

10

非貿易的関心事項と多面的機能

国の政策:

グローバル化下、農業・農村の行き詰まり、日本農業の空洞化

- 1) 農村地域振興の意義付け
多面的機能に活路を見いだす
- 2) 貿易自由化の流れを阻止する根拠
文化、生活、生態系、環境との強い関係性をもつ農業・農村の強調

11

多面的機能とは何か？

ある経済活動が複数の生産物を産出し、それであるがゆえに一度に複数の社会的な要請に貢献するという。

生産プロセスとその複数の生産物に関する特定の性質についての「活動に着目した」概念である。

OECDによる規定

12

多面的機能の本質

- その基盤となる生産との関係
- 経済指標だけでは計測できないことも
- 「特徴」ではなく「目的」に注目
それ自体が社会において特定の役割を果たすことが期待。存在自体が価値を有する
(農業の有する多面的機能を増進することが政策目的)

13



(資料)農林水産省

日本学術会議の審議で示された農業の多面的機能

- 持続的な食料供給が国民に与える将来に対する安心
- 農業的土地利用が物質循環を構築することによる環境への貢献
 - 農業による物質循環の形成
 - 水循環の制御による地域社会への貢献
洪水防止、土砂崩壊防止、土壌保全(流出)防止、河川氾濫の安定、地下水涵養
 - 環境への負荷の削減・緩和
水質浄化、希毒性汚染物質分解、大気調節(大気浄化、気候緩和など)、農薬の適正な管理・取除防止
 - 二次的(人工的)自然の形成・維持
 - 新たな生態系としての生物多様性の保全等
生物多様性保全、遺伝資源保全、野生動物保護
 - 土地空間の保全
農地農地の動態保全、みどり空間の提供、日本の風景美の保全、人工的景観の形成
- 生産・生活空間の一体性と地域社会の形成・維持
 - 地域社会・文化の形成・維持
 - 地域社会の潤滑
 - 伝統文化の継承
 - 都市的機能の補完
 - 人間性の回復
 - 体験学習と教育

資料：日本学術会議「地球環境・人間生活にかかわる農業及び森林の多面的な機能の評価について(審議)」(13年11月)

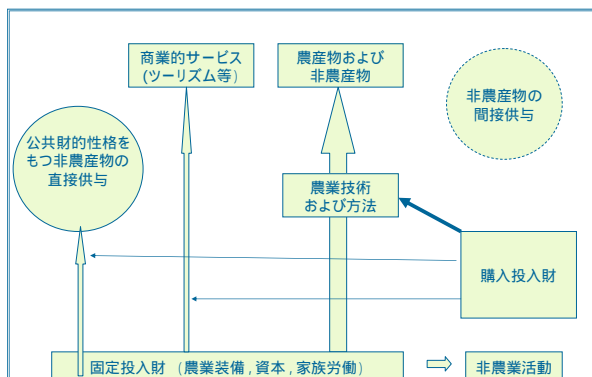
農業の多面的機能の指標評価

項目(機能)	評価手法	評価値
洪水防止機能	代替法	3,646,980億円/年
河川氾濫安定機能	代替法	1,854,630億円/年
地下水涵養機能	直接法	527億円/年
土壌保全(流出)防止機能	代替法	3,316億円/年
土砂崩壊防止機能	直接法	4,782億円/年
希毒性汚染物質分解機能	代替法	1,233億円/年
気候緩和機能	直接法	87億円/年
景観・緑化機能	トラベスコスト法	2,653,730億円/年

資料：(株)三菱総合研究所「地球環境・人間生活にかかわる農業及び森林の多面的な機能の評価に関する調査研究報告書」(13年11月)
注：1) 農業の多面的機能のうち地理的な機能を中心に算定評価が可能で一部の機能については、日本学術会議の特別委員会が評価内容を見直し、(株)三菱総合研究所が算定評価を行ったものである。
2) 機能によって評価手法が異なっていること、また、評価されている機能が多面的機能全体のうち一部の機能にすぎないことから、合計値は記載していない。
3) 洪水防止機能、河川氾濫安定機能、土壌保全(流出)防止機能等の代替法による評価額についてはダム等も代替法として評価したものであるが、農業の有する機能とダム等の機能とは性格が異なる面があり、同等の効果をもたらすものでないことに留意する必要がある。
4) 景観・緑化・やすらぎ機能については、機能のいく一部を計算した試算である。
5) いずれの評価手法も一定の仮定の範囲内での計算であり試算の範囲を出るものではなく、その適用に当たっては細心の注意が必要である。
参考資料：日本学術会議「地球環境・人間生活にかかわる農業及び森林の多面的な機能の評価について(審議)」(13年11月)

(資料)農林水産省

農村における経済活動と多面的機能



注：OECD 資料をもとに作成

(参考) 水産業・漁村の多面的機能の評価分野とその内容

評価分野	内 容
雇用と雇用機会創出	漁村の多くが平瀬域や微高地にあり、その地理的条件から、水産業以外に代替産業が乏しく、その地域にとって重要な、雇用機会と所得の創出を確保
環境の保全	生活排水等が様々な経路を経て、最終的には海に流入、海に流れ込んだ農業分枝系を通過して有害な水質汚染物質が、漁業活動を通じて陸上に回収されていく。水産業は海から陸への物質循環の役割
生態系の保全	林業の停産では約13万平方メートルの漁業、約1,000の漁業、約6,200の漁業業者が存在。これによって、沿岸域における生態系の回復とネットワークが形成され、漁業や漁業の発展、漁業活動や環境整備、関係機関、関係などの機能
健康・交流・学習の場の提供	沿岸域は、海水浴、釣り、釣り、釣り等の多岐にわたるレクリエーションを通じて国民の定住の場。また、体験漁業や環境学習など、都市と漁村の交流、関係の場を構築
文化の継承	水産業・漁村は、その営みを通じて様々な食文化や祭り等の生活文化、漁業文化、独自の漁村文化を形成。これらは、漁村やそこに生活する漁業者によって継承、継承

資料：水産庁

多面的機能の評価軸はまだ定まっていない。

- WTO: 農産物の輸入規制, 農産物貿易ルールの確立に向けた理論的根拠
- 日本の農業・農村に対する消費者の関心: 購買意識の変化を誘発
- 「条件不利地農業」支援への国民的合意の形成 (農業の中山間地直接支払制度)

19

多面的機能論と農村振興

多面的機能を評価し, 地域住民, 農村社会による内発的な試み

- 1) 地域資源・環境の有効利用によって地域農業の停滞を食い止めようとする動き
新しい農業関連ビジネス, ツーリズム, 都市との交流, etc.
- 2) 内発的な動きのなかに地域農業, 資源管理, 地域振興の新しい担い手をみいだそうとする動き

20

多面的機能: 内発的な試みの行き先は?

- 農村の再生: 空洞化しつつある農村を活性化させる社会的意義を確認
- 集落を基盤とした生活文化を再生し, 開発事業に挑戦する
- 変革の視点: 生産的視点から消費的, 文化的, 社会的視点(地域生活の安定を基本)を提示

21

多面的機能の発展

政策レベルの深化
地域レベルの試み

農村振興の新しい風?



- 都市との交流に活路を見いだす活動
- 地域に雇用の場をつくる活動
- 地域アイデンティティと農産物
- 農家経済の安定をはかる

従来の農村振興との違いはあるのか?

「条件不利地農業」に対する支援・振興

22

演習問題

- 1 林業の多面的機能を維持するために, どのような施策がなされているかを調べなさい。
- 2 今年の8月, 日本学術会議が「水産業及び・漁村の多面的機能」についての答申をだしました。その内容を調べ, 半島地域や島嶼部の漁村を維持することの意義を論じなさい。

23